

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

ABCDE－STEP3 実践例 6年生『社会科』 単元『天皇を中心とした政治』

課題の設定

p.84～p.85 法隆寺と聖徳太子
教科書：7月9日（最終期限：7月9日）
100点

【学習課題】
どうして大きな寺がつくられたのだろう。

【課題設定】
・ループリッスを確認して、自分のめあて・ゴールを決める。

【情報収集】
教科書p.84,85から情報を収集する。
・当時の日本の世の中の様子は「どんな様子」だったのか。
・法隆寺は「どんな寺」で、つくっているときの人々は「どんなようす」だったのか。

【情報分析】
①教科書p.84,85から情報を収集する。
②思考ツールを使い、情報を自分なりに整理・分析する。
③友達と話し合い、スライドをブラッシュアップしていく。
④自分の学び方についてふりかえり、振り返りを行う。

【まとめ・表現】
・友達と話し合い、スライドをブラッシュアップしていく。
・自分の学び方についてふりかえり、振り返りを行う。

【ふりかえり】
今日の自分の学び方についてふりかえり、振り返りを行う。
※自分の学び方についてふりかえり、振り返りを行う。

ループリッス：条件1個・4ポイント

A	B
聖徳太子が法隆寺を建てた理由について、当時の日本や隋の様子とともに、くわしく説明している。	聖徳太子が法隆寺を建てた理由について、当時の日本や隋の様子とともに説明している。

Google Classroom で本時のめあて、学習の流れと評価規準を視覚的に確認することにより、見通しと学習の目標を持つことができる。

情報の収集



教科書、資料集、動画等から必要な情報を収集し、その後、見つけた情報をGoogle スライドにキーワードで書き出す。

【本時のねらい】

聖徳太子がなぜ法隆寺を建立したかについて、当時の日本の世の中の様子や人々の生活、隋の様子と関連付けて理解することができる。

【課題設定】

学習課題「どうして大きな寺がつくられたのだろう」を確認し、ループリッスをもとに、自分の今日のめあてをたてる。



【情報収集】

様々な情報から、法隆寺や聖徳太子、そして当時の人々の暮らしや社会の変化に関する課題解決に必要な情報を収集する。

【整理・分析】

思考ツールを用い、収集した情報を整理・分析し、法隆寺建立とその時代についてまとめる。

【まとめ・表現】

作成したスライドをもとに、自分のまとめた内容と考えを友だちと伝え合う。

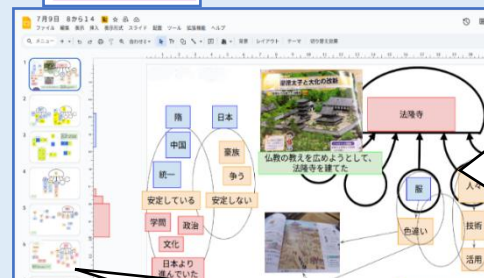
【ふりかえり】

自分の学びをふりかえり、次の学習につなげる。

【教員のかかわり】

『見方・考え方』を働かせる学習活動中に、クラウドで進捗状況を確認しながら、『子どもの学びの姿』を見とり、『子どものつばやき』等のアウトプットを拾い、リアルタイムで形成的評価を行う。

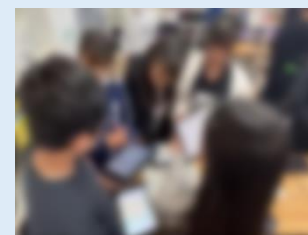
せりふんせき 整理・分析



子どもたちが、自分の考えを整理するために最適なシンキングツールを自分で選びながら、情報を整理・分析し、Googleスライドにまとめ、構造化している。

友だちの書いている内容を必要とするタイミングで他者参照することができ、気づきをもとに自分のスライドを確認、修正することができる。

ひょうげん まとめ・表現



共有したスライドによって、自分と異なるまとめ方や考え方を知ることができる。子どもたちは、「同じ考え方」「違う考え方」の友だちをクラウド上から探し、自分の考えを広げ、深め合える相手と伝え合う。

ふりかえり



Googleスプレッドシートに本時の自分のめあてに対する到達度を3段階で評価するとともに、『何を学び、何ができたようになったのか（学習内容）』『どのように学んだのか（学習方法）』を記入する。

【子どもの変容】

教科書の文から必要な語句を見つけ出したり、写真、イラスト等と教科書の語句を関連付けて情報を抜き出し、関連性を考えながらまとめることができるようになった。今後、整理した情報をもとに自分の考えを表現する『まとめ・表現』の活動で、友だちとの対話的な学びで発見した新たな視点や考え等の情報をもとに、自分の考えをより広げ、新たな探究心をもち、より主体的に学習に向かう子どもを育成していきたい。